



## Cambridge International AS Level

CANDIDATE  
NAME

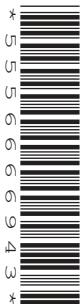
--	--	--	--	--

CENTRE  
NUMBER

--	--	--	--	--

CANDIDATE  
NUMBER

--	--	--	--



### JAPANESE LANGUAGE

8281/02

Paper 2 Reading and Writing

October/November 2023

1 hour 45 minutes

You must answer on the question paper.

No additional materials are needed.

### INSTRUCTIONS

- Answer **all** questions in **Japanese**.
- Use a black or dark blue pen. Do **not** use an erasable pen or correction fluid.
- Write your name, centre number and candidate number in the boxes at the top of the page.
- Write your answer to each question in the space provided.
- Do **not** write on any bar codes.
- Dictionaries are **not** allowed.

### INFORMATION

- The total mark for this paper is 70.
- The number of marks for each question or part question is shown in brackets [ ].

### 指示

- 全ての問題に日本語で答えなさい。
- 黒または、こい青のペンを使うこと。消すことができるペンや、修正液は使わないこと。
- このページの上のほうにある空欄に氏名、センター番号、受験者番号を書きなさい。
- それぞれの問題に対する解答は、与えられた解答欄に書きなさい。
- バーコードには何も書かないこと。
- 辞書を使ってはいけません。

### 情報

- この試験の合計点数は70点です。
- 各問題の配点は[ ]に示されています。

This document has 8 pages.

## セクション1

次の文章を読んで、もんだい1、2、3に答えなさい。

## 文章1

## だれもが楽しめるサッカーの試合

みなさん、明るい光が苦手な人を知っていますか。人間の体がちがうように、のうも色々ちがいます。たとえば、ある小学生は大きな音を聞くと、こわくて集中できなくなります。また、大人でも、いつもとちがうかんきょうに入ると不安になる人もいます。このような (i) ストレスを感じる子どものために、家族といっしょにスポーツの試合を見て楽しめるツアーが行われました。

7月27日、川崎市の試合では、ツアーの親子が60人ぐらい集まりました。 (a) スタジアムの一部には普通より (ii) 暗くしてある部屋があつて、中には、さわって安心できるおもちゃも用意されていました。子どもたちはうるさい音を通さないガラスの大きなまどの後ろから、「がんばれ！」とチームを (b) おうえんしていました。音にがまんできなく (iii) なったときに使えるヘッドホンもありました。

この日の試合は、川崎のチームと大分のチームでした。川崎市の小学2年生の青木ひろし君は、「川崎のチームが勝ってうれしかった。ぜひまた (c) 地元のチームを見に行きたい。大好きな小林選手のゴールが (iv) 見られたのがすばらしかった。ぼくもかっこいいスポーツ選手になりたい。それから、チームのマスコットととった写真も、とても大切な思い出に (v) なるだろう。」と話していました。青木君のお母さんも、「今日は私たちだけのとくべつな部屋で、二人ともおちつけてよかったです。ひろしは、知らない所に行くといつもなきだすので、行く前は少し心配だった。それに、いつもとちがって今日は集中して見ていましたので、びっくりした。」とよろこんでいました。

市役所の人は「国内ではじめてのこのようなツアーが (d) 手配できるうれしい。全員を (e) 公平にあつかうには、個人のニーズに合わせたサービスがひとつようだ。多くの人は、みんなを同じにあつかうことが公平だと思っている。しかし、人はそれぞれちがうことをしっかり考えてほしい。一人ひとりのちがいに合わせて選べる世の中をいっしょに作り出そう。」と言いました。

5

10

15

20

もんだい 1

(a)～(e)のことばはどういう意味ですか。最も近いと思うものに○をつけなさい。

(a) スタジアム

1	
---	--

 運動をする所

2	
---	--

 試験をうける所

3	
---	--

 映画を作る所

[1]

(b) おうえん

1	
---	--

ちゅう い 注意すること

2	
---	--

 しかること

3	
---	--

 元気づけること

[1]

(c) 地元の

1	
---	--

 外国の

2	
---	--

 一流の

3	
---	--

 その土地の

[1]

(d) て はい 手配

1	
---	--

 ほうこく

2	
---	--

 じゅんび

3	
---	--

 利用

[1]

(e) こ う へ い 公平

1	
---	--

せいとう 正当

2	
---	--

 親切

3	
---	--

 まじめ

[1]

[合計点: 5]

## もんだい 2

文中の (i) ~ (v) のひょうげんを使って、文を作りなさい。本文と同じ文を書いてはいけません。

例 ～によると： 天気よほうによると、あしたは雨だ。

(i) Noun modification / relative clause (e.g. ストレスを感じる子ども) (3 行目)

[1]

(ii) ～である (6 行目)

[1]

(iii) Structures expressing “when” (～とき) (8 行目)

[1]

(iv) Plain verb + の + particle (12 行目)

[1]

(v) ～だろう (13 行目)

[1]

[合計点: 5]

## もんだい 3

文章1を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

( [ ] の中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 :  $15 + 5 = 20$ )

- (a) このツアーにさんかした人は、どのようなニーズがある人ですか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

- (b) 会場になった部屋には、どのような工夫がありましたか。文中から**4つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....  
.....

[4]

- (c) 青木ひろし君には、この試合で何がとくによかったですか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

- (d) お母さんによると、試合中、ひろし君はどんな様子でしたか。文中から**2つ**書きなさい。

.....  
.....

[2]

- (e) 市役所の人の意見では、今後、どんな社会にしていきたいですか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

[合計点: 20]

## セクション2

次の文章を読んで、もんだい 4、5に答えなさい。

文章2

アイヌの自分 — 「かくす」から「ほこりを持つ」へ

島田さん(63才)が2010年に始めた「アイヌ感謝祭」は、北海道に住むアイヌ民族の文化を大切にするまつりです。うたやおどりのほか、伝統的な食べ物もあって、多くの人がアイヌ文化について知ることができます。中川さんも今年はじめてさんかして、自分と同じアイヌ民族の人と東京で交流することができました。

アイヌ民族は明治時代から、独自の文化を禁止されてきましたが、去年、アイヌ文化をより広めるためのほうりつができました。今まで学校などでさべつされたくるしい体験があるアイヌの人たちは、アイヌ文化のことをもっと考えてほしいと発言します。

中川さんは、「小学校では、自分がアイヌだということをかくすのが普通でした。親はアイヌ文化をほこりに思っていましたが、ぼくはアイヌだということをわすれたいと思いました。」と言いました。

中川さんは、25才で関東へひっこしてから、考え方たが変わりました。そして、先に上京していた友人といっしょにアイヌ民族のグループを立ち上げて、その歴史について学びました。グループは、自分たちのけんりのために声をあげる政治的活動もします。また、学校でアイヌ語を使うことができなかつた大人がいるので、グループではアイヌ語も勉強します。

このとき、れいになるのが、ニュージーランドのマオリ民族の経験です。今、ニュージーランドでは、マオリ語は英語とならんで公用語です。数は多くありませんが、マオリ語だけで教育をうけられる公立高校もあります。「このようなけんりを勝ち取るまでに、どのぐらいどりよくしたのだろう。」と中川さんは話します。マオリ語でほうそうするテレビ局もあります。

今、人数が少ないアイヌ語話者の数をふやすために、中川さんも北海道のラジオでアイヌ語を使ってほうそうしています。「言語が使われていなければ、民族文化はなくなってしまう。これからも、全力でがんばるつもりだ。」と中川さんははり切っています。

## もんだい 4

文章2を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

( [ ] の中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 :  $15 + 5 = 20$ )

- (a) 「アイヌ感謝祭」から、どんなけっかがありましたか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

- (b) アイヌ<sup>みんぞく</sup>民族の人は、以前、どんないやなことがありましたか。文中から**2つ**書きなさい。

.....  
.....

[2]

- (c) 中川さんが小さかったころ、アイヌ<sup>みんぞく</sup>民族であることがくるしかったのは、中川さんのどんな行動から分かりますか。文中から**2つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[2]

- (d) アイヌ<sup>みんぞく</sup>民族のグループはどんな活動をしていますか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

- (e) マオリ<sup>みんぞく</sup>民族は、どんなけんりを持っていますか。文中から**3つ**書きなさい。

.....  
.....  
.....

[3]

- (f) 中川さんがラジオでほうそうしている目的は何ですか。文中から**2つ**書きなさい。

.....  
.....

[2]

[合計点: 20]

## もんだい 5

下の二つの点について、げんこう用紙に日本語で**280字**ぐらいで書きなさい。

( [ ] の中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 :  $15 + 5 = 20$ )

- (a) みんなが住みやすい社会を作るために、どんなことができますか。文章1と文章2からのアイデイアやインフォメーションを使って、答えなさい。 [10]

- (b) 来月近くの公園でバザーを開きます。だれもが来られるように、どんな工夫をしますか。<sup>くふう</sup>

[合計点: 20]

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

To avoid the issue of disclosure of answer-related information to candidates, all copyright acknowledgements are reproduced online in the Cambridge Assessment International Education Copyright Acknowledgements Booklet. This is produced for each series of examinations and is freely available to download at [www.cambridgeinternational.org](http://www.cambridgeinternational.org) after the live examination series.

Cambridge Assessment International Education is part of Cambridge Assessment. Cambridge Assessment is the brand name of the University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is a department of the University of Cambridge.